

ございます

年頭にあたり

明けまして、おめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は100年に一度と言われる金融危機・経済不況・雇用不安に加えて、国政における大きな変革の年でもありました。

国政においては、8月の衆議院議員総選挙の結果を受けて9月に政権交代が行われ、その後新政権が政権公約に掲げる子ども手当の創設、ガソリン税などにおける暫定税率の廃止、後期高齢者医療制度の廃止、郵政事業の再構築など、大きな制度改革の行方が焦点となりました。加えて、新たに平成22年度の国の予算から無駄をなくす切り札として、行政刷新会議による「事業仕分け」が行われるなど、予算編成作業においても抜本的な見直しが行われ、今後の予算編成の動向によっては、町政運営にも大きな影響が生じると考えられます。

また、栃木県においては、財政の健全化に向けて昨年10月に「とちぎ未来開拓プログラム」を策定し、その中で平成21年度から平成24年度までを「集中改革期間」と位置づけて、財政基盤を立て直すため具体的な取組を定めたところであり、今後少なからず町政運営への影響が懸念されます。

このように地方公共団体を取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、本町では、「上三川町第6次総合計画・基本構想」に掲げた町の将来像、「より安心・安全で活力のあるまち 上三川」の実現を目指し、本年も高齢者・障がい者の支援、子育て支援をはじめ、健康増進、医療対策、社会インフラ整備、教育環境の整備などの施策を積極的に展開してまいります。これら施策の推進にあたりましては、町民の皆様との対話と信頼、協働を基本に、事業の優先順位を定め、「町民目線」による効率的で効果的な行財政運営に努めてまいります。

本年の主要な事業といたしましては、「障がい者支援の充実」では、旧老人福祉センターを障がい者支援の拠点施設として整備を進めてまいります。「子育て支援の充実」では、引き続き中学3年生までの医療費の助成、第3子以降の出産祝金、妊婦健診費・不妊治療費の助成など、安心して子どもを生み育てることができる環境の整備に努めてまいります。「健康福祉のまちづくり」では、保健福祉の拠点施設「上三川いきいきプラザ」を効果的に活用し、将来を見据えた健康、長寿のまちづくりを積極的に推進してまいります。「学校教育の充実」では、安全・安心・快適な教育環境の整備を図るため、計画的に小中学校の耐震補強及び大規模改修事業に取り組んでおり、上三川小学校と本郷中学校の整備を進めてまいります。

むすびに、今後の町政運営にあたりましては、行財政基盤の一層の強化を図るとともに、国の政策変更に伴う影響にも十分配慮しながら、住民生活の安定と教育・福祉の充実に全職員一丸となって努めてまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



上三川町長
猪瀬成男

あけまして おめでとう

新年明けましておめでとうございます。謹んで幸多き新年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

さて、昨年は平成20年のリーマンショックを契機とした世界的な経済不況が引き続いて国内経済に影響を及ぼし、企業等の事業規模縮小により雇用問題の発生や所得の悪化が大きな社会問題となりました。

こうした社会経済情勢の中、8月の衆議院選挙において新政権が誕生し、昨年末には平成22年度事業仕分けとして様々な事務事業が廃止や削減の対象として提案され、今後国の予算編成でどのような影響が地方自治体に出てくるのか予想出来ない状況にあります。

昨年11月全国町村議会議長会創立60周年の全国大会が東京で開催されましたが、参加町村は年々減少傾向にあります。戦後の混乱期を経た昭和30年前後の「昭和の大合併」では9,800あった市町村が4,600となり、「平成の合併」では平成21年までに1,772市町村に統合されました。この中で町村の状況をみますと、平成元年の2,590町村が今年の3月末では957町村と3分の1近くに減少し、県内でも平成16年には37町村がありました。本年は13町となる予定です。合併までの経緯はそれぞれの市町村で状況は違いますが、合併の有無に関わらず、いずれの市町村もこれから大きな課題を乗り越えていかなければなりません。

こうした地方自治体の大きな変化の中で、本町は住民の意向ということで単独町を選択いたしました。これを決定した議会も今後の町づくりに対して大きな責任を担わなければなりません。昨年12月の定例会において、「議会の活性化」と「議会常任委員会の専門性を高める」。また、議会広報紙等を活用して議員活動を住民の皆さんに広くお知らせしていくことが必要であるとの報告がなされました。私たち議員は地域の代表であり、議会は町全体の政策を決定していく機関であります。

極めて先の不透明な社会経済情勢のもとではあります。我々議員一同、住民福祉の向上のため、さらに努力してまいり所存でありますので、本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年1年が、皆様におかれましては幸多き一年でありますよう、心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



上三川町議会議長
松本清

